

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	結核定期健康診断・予防啓発事業			事業番号	011-233
担当部署名	健康福祉	局	健康部 保健所	部	感染症対策 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画			
3	事業開始年度	昭和 26 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	結核の罹患率が高い65歳以上の市民 約235,000人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	主に結核の罹患率が高い65歳以上の市民を対象に、レントゲン検査を実施することにより、結核の早期発見、早期治療につなげ、結核のまん延を予防する。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<p>【結核予防週間等における予防啓発事業】</p> <p>①街頭啓発キャンペーンの実施（令和2年度：9月24日～9月30日）</p> <p>②啓発リーフレットの作成及び配布</p> <p>③市役所・保健センターで結核についての展示</p> <p>【肺がん・結核検診】</p> <p>全校区において、胸部エックス線検診車の巡回検診を実施（令和2年度：61回）</p> <p>【定期健康診断実施報告書の提出勧奨】</p> <p>市内医療機関・福祉施設・学校等は年1回定期的健康診断を実施する必要があり、勧奨によって報告率の向上を目指す。</p> <p>【結核対策費補助金の交付】</p> <p>学校や老人ホーム等の集団で生活する施設に対する結核対策費補助金の交付を行い、患者を早期発見する。</p>
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	委託：一般財団法人 大阪府結核予防会ほか 補助金：羽衣国際大学ほか
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 結核罹患率	%	目標値	18.0	18.0	策定中		策定中
		実績値	18.6	16.1			
		達成率	97%	111%			
当該指標を選定した理由		本事業は、結核患者の早期発見、まん延の防止を目的としているため。 ※罹患率…一年間に発病した患者数を人口10万人対率で表したものの。					
目標値の設定根拠・算出方法		堺市の結核対策の推進に向けた基本目標参照。今後の目標については結核対策評価会議を実施し、令和3度中に策定予定。					
12 肺がん・結核検診受診者数	件	目標値	6,000	2,550	2,200		
		実績値	5,637	2,181			
		達成率	94%	86%			
当該指標を選定した理由		健康診断実施者は、感染症法第53条の7に基づき、報告しなければならないため。					
目標値の設定根拠・算出方法		緊急事態宣言発令等の影響を鑑み、前年実績を参考に設定。(R2年度4～6月検診中止、受診希望者4割減想定。)					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	結核定期健康診断・予防啓発事業	事業番号	011-233
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	18,933	19,021	21,833	13,582	21,224
13 財 源 内 訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	18,933	19,021	21,833	13,582	21,224
14 人件費 (b)	6,560	6,180	6,490	6,490	6,490
15 年間経費(c)=(a)+(b)	25,493	25,201	28,323	20,072	27,714

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度		事業費		うち 一般財源	項目	年度		事業費		うち 一般財源
	R2	決算	2,013	2,013			R2	決算	419	419	
16 事 業 費 内 訳	結核定期健康診断補助金	R3	予算	2,876	2,876	事務費等消耗品費	R3	予算	309	309	
		R2	決算	7,651	7,651		R2	決算	275	275	
	肺がん・結核健診委託料	R3	予算	14,459	14,459	医学文献情報データベース利用料	R3	予算	276	276	
		R2	決算	1,963	1,963		R2	決算	24	24	
	会計年度任用職員雇用経費	R3	予算	2,095	2,095	有料道路通行料	R3	予算	18	18	
		R2	決算	84	84		R2	決算	10	10	
	肺がん・結核健診案内誘導業務委託料	R3	予算	520	520	会議等参加旅費	R3	予算	109	109	
		R2	決算	265	265		R2	決算	878	878	
	定期健診報告勸奨等郵送料	R3	予算	494	494	その他(備品購入費、手数料、修繕料等)	R3	予算	68	68	
		R2	決算				R2	決算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 肺がん・結核検診受診者数	人	5,637	2,181
② 上記①にかかる年間経費	千円	13,907	7,651
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	2,467	3,508
備考 (算出についての説明等)	②は検診を実施する際に要した委託料及び人件費等		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、肺がん・結核検診の実施を一部中止したこともあり受診者が減少したため、全体的な費用対効果は低下したと考えられる。しかし、結核患者の早期発見を努めるには、引き続き受診勧奨を行い、一人でも多く検診の受診につなげる必要がある。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 上記記載のとおり、検診の実施回数の減少や、受診率の低下が顕著に現れており、予防啓発という点では前年度を下回っていると考えられる。しかし、今般の新型コロナウイルス感染症に対する市民の意識により不要不急の外出の抑制、マスク着用による感染予防対策、症状出現時の早期受診といった行動が、相対的に結核の早期発見・早期治療を行い、結核のまん延を予防することにつながっていると推測される。